

平成 23 年度

# シラバス

5 年 次  
(テーマ別講義 1)



日本大学松戸歯学部

### 一般目標(GIO)

臨床実習で遭遇する症例および歯科医師国家試験臨床実地問題に対する問題解決能力を養うために主訴別による各種疾患の診断能力と治療方針の立案および処置に必要な基礎的知識を習得する。

### 到達目標(SBOs)

主訴・症状・兆候から適切な診断名を推測できる。

病名の確定診断に必要な検査法を説明できる。

口腔内写真、検査データおよびエックス線画像から適切な診断名を推測できる。

適切な診断に基づいて正しい処置方針を立案できる。

処置後の予後について説明できる。

### 講義および試験実施要項

実施期間：平成23年4月1日～9月30日

講義：401教室

講義時間：月曜日から土曜日までの午前8時40分～9時30分

講義内容について

歯科医師国家試験問題の臨床実地問題に対して主訴から正解を得るための考え方やプロセスについて解説を行い、さらに関連事項について講義する。

平常試験

- ① 18回の平常試験を実施する（1回15～24問）。
- ② 験時間は、8：40～9：30（50分）。401教室で行う。
- ③ 験問題は第98～102回歯科医師国家試験問題の改変および新規問題とする。問題形式は、MCQ形式とし、問題の比率は、臨床実地問題を約35%、一般問題を約65%とする。
- ④ 平常試験の追再試験は行わない。

定期試験について

試験問題は第98～102回歯科医師国家試験問題の改変および新規問題とする。試験問題数は講義1ワクについてMCQ形式の問題2問の総問題数180問とし、問題の比率は、臨床実地問題を約35%、一般問題を約65%とする。

実施日は9月20日（火）に2時限に分けてそれぞれ90問ずつで実施する。

合格基準について

平常試験18回の合計点数の正解率と定期試験の正解率がともに65%以上の者をテーマ別講義1の合格者とする。

再試験について

平常試験と定期試験のいずれかが正解率が65%未満の者を再試験該当者とする。

再試験該当者で、まとめ試験をやむお得不い理由で受けられない者以外は、まとめ試験を受験しないと、再試験は受験できない。

問題数は講義1ワクについてMCQ形式の問題1問の総問題数は合計90問で行う。

実施日は、9月30日（金）とする。

再試験の正解率が65%以上の者をテーマ別講義1の合格者とする。

以 上

5年次 テーマ別講義1 オーガナイザー

テーマ別	オーガナイザー
材 料	石井智浩 ・ 神谷直孝
病 態	竹内麗理 ・ 久山佳代
問 診	岡本康裕 ・ 内田貴之

主 訴	オーガナイザー
歯が痛い・咬むと痛い1	石井智浩
歯肉が痛い1	久山佳代
歯肉の腫脹2	久山佳代
顎が痛い1	池谷美和
舌が痛い	原 正浩
顔が腫れた	原 正浩
歯肉が腫れた1	鈴木桃子
口が開かない1	池谷美和
ぶつけた1(歯牙脱臼)/ 8(軟組織損傷)	松根健介
誤咬・咬傷	宗 邦雄
歯が欠けた	神谷直孝
脱離・食片圧入1	神谷直孝
補綴物破折1	石井智浩
審美障害1	小林 平
咀嚼障害1	小林 平
発音障害1	宗 邦雄
麻酔科	峯村麻由
障害者	梅澤幸司
矯正	斉藤勝彦

平成23年度 テーマ別講義1 日程表

08:40~09:30 401教室 (平成23年2月1日、4日→400教室)

月日	曜	ユニット	テーマ	担当講座	講義責任者
4月1日	金	テーマ別講義1 ガイダンス			
4月2日	土				
4月3日	日				
4月4日	月	材料1	歯科材料の種類, 組成および性質について	歯科生体材料学	西山典宏
4月5日	火	材料2	歯科材料の種類, 組成および性質について	歯科生体材料学	谷本安浩
4月6日	水	材料3	これだけは知っておきたい保存修復処置に使用する器材・薬剤	う蝕抑制審美治療学	森 俊幸
4月7日	木	材料4	根管治療の各ステップに使用する材料について	歯内療法	川島 正
4月8日	金	材料5	クラウン・ブリッジ作製に必要な材料について	クラウンブリッジ	会田雅啓
4月9日	土	材料6	義歯製作に必要な材料について	顎口腔リハビリテーション学	矢崎賢啓
4月10日	日				
4月11日	月	試験1 (3x6=18問)			
4月12日	火	問診1	OSCEと臨床の医療面接の違い	歯科総合診療学	青木伸一郎
4月13日	水	問診2	診療録の構成と診査所見記載について	歯科総合診療学	岡本康裕
4月14日	木	問診3	疾患別の診査所見について	歯科総合診療学	岡本康裕
4月15日	金	病態1	臨床検査の基準値と疾患	歯科臨床検査医学	布施 恵
4月16日	土	病態2	総論 (講義の概要説明)	口腔分子薬理学	竹内麗理
4月17日	日				
4月18日	月	試験2 (3x5=15問)			
4月19日	火	病態3	歯髄の炎症, 内歯髄・外歯髄, 歯周組織の炎症 (歯根膜炎, 歯槽骨炎, etc.)	歯内療法学	岡部 達
4月20日	水	病態4	骨の炎症 (骨膜炎, 骨髄炎, etc.), 副鼻腔の炎症 (上顎洞炎, etc.)	口腔外科学	原 正浩
			組織の炎症 (舌下腺・顎下腺・オトガイ下腺の炎症, etc.)		
4月21日	木	病態5	パノラマX線写真に描出される解剖学的指標	放射線学	森 進太郎
4月22日	金	病態6	顎顔面領域の解剖 (骨, 筋, 隙, 副鼻腔)	解剖人類形態学	松野昌展
4月23日	土	病態7	抗炎症薬, 鎮痛薬	口腔分子薬理学	竹内麗理
4月24日	日				
4月25日	月	試験3 (3x5=15問)			
4月26日	火	病態8	う蝕と歯固疾患の原因菌	感染・免疫学	高田和子
4月27日	水	病態9	免疫の基礎 (液性免疫, 細胞性免疫)	感染・免疫学	山本正文
4月28日	木	病態10	炎症の定義, 五徴候, 経過	口腔病理学	久山佳代
4月29日	金				
4月30日	土	病態11	炎症の化学伝達物質, アラキドン酸カスケード	化学	城座映明
5月1日	日				
5月2日	月	病態12	痛みの伝達	生理学	加藤 治
5月3日	火				
5月4日	水				
5月5日	木				

	ユニット	テーマ	担当講座	講義責任者
5月6日	病態 1 3	口腔領域に分布する神経	解剖人類形態学	松野昌展
5月7日	病態 1 4	局所麻酔薬の種類と作用機序、局所麻酔の方法 (浸潤麻酔、伝達麻酔)	歯科麻酔・生体管理学	石橋 肇
5月8日	日			
5月9日	試験 4 (3x7=21問)			
5月10日	歯が痛い・咬むと痛い1	咬合性外傷の症状と治療	クラウンブリッジ	小林 平
5月11日	歯が痛い・咬むと痛い2	歯根破折の診断および原因と防止法	クラウンブリッジ	後藤 治彦
5月12日	歯が痛い・咬むと痛い3	咀嚼時疼痛、片側下唇のしびれにて来院 (旧総義歯)	顎口腔義歯リハビリテーション学	宗 邦雄
5月13日	歯が痛い・咬むと痛い4	咀嚼時疼痛、片側下唇のしびれにて来院 (新総義歯)	顎口腔義歯リハビリテーション学	河相安彦
5月14日	歯が痛い・咬むと痛い5	咀嚼時疼痛にて来院したとき (局部床義歯)	顎咬合機能治療学	石井智浩
5月15日	日			
5月16日	試験 5 (3x5=15問)			
5月17日	歯が痛い・咬むと痛い6	歯の疼痛の原因と処置について	口腔外科	原 正浩
5月18日	歯が痛い・咬むと痛い7	咬合痛の原因を診断し、処置法を説明できる。	歯周科	大橋頭二郎
5月19日	歯が痛い・咬むと痛い8	主訴「冷たいものがしみる・噛むと痛い・・・」保存領域として考えられること	う蝕抑制審美治療学	平山聡司
5月20日	歯が痛い・咬むと痛い9	歯髄炎と根尖性歯髄炎について	歯内療法	川島 正
5月21日	歯が痛い・咬むと痛い10	小児期の歯髄炎について	小児歯科	清水邦彦
5月22日	日			
5月23日	試験 6 (3x5=15問)			
5月24日	歯が痛い・咬むと痛い11	高齢者が咀嚼時疼痛、片側下唇のしびれにて来院したとき・・・	口腔機能学	川良美佐雄
5月25日	歯肉が痛い1	歯肉の腫瘍 (粘膜炎) を主訴に来院	口腔外科	原 正浩
5月26日	歯肉の腫脹2	歯肉の腫瘍 (粘膜炎) を主訴に来院	顎口腔義歯リハビリテーション学	久山佳代
5月27日	歯肉が痛い3	歯肉の腫瘍 (粘膜炎) にて来院したとき・・・	顎口腔義歯リハビリテーション学	菅野京子
5月28日	顎が痛い1	顎関節の疼痛の原因と処置について	顎顔面外科学	池谷美和
5月29日	日			
5月30日	試験 7 (3x5=15問)			
5月31日	顎が痛い2	顎関節の画像診断	放射線科	小椋一郎
6月1日	舌が痛い	舌の疼痛の原因と処置について	口腔外科	原 正浩 (西村 均)
6月2日	顔が腫れた	顔面の腫脹の原因と処置について	口腔外科	田島秀人
6月3日	歯肉が腫れた1	歯肉の腫脹の原因と処置について	口腔外科	原 正浩
6月4日	歯肉が腫れた2	小児期の歯肉の腫脹について	小児歯科	小川京
6月5日	日			
6月6日	試験 8 (3x5=15問)			
6月7日	歯肉が腫れた4	歯肉形態の炎症に対しての原因を診断し、処置法を説明できる。	歯周科	鈴木桃子
6月8日	口が腫れない1	顎関節症の原因と処置について	顎顔面外科学	池谷美和
6月9日	口が腫れない2,3	顎関節炎の原因と処置について	顎顔面外科学	池谷美和
6月10日	口が腫れない4	顎関節の腫瘍性疾患について	顎顔面外科学/生化学	池谷美和/平塚浩一
6月11日	ぶつけた1 (歯牙脱臼) / 8 (軟組織損傷)	歯脱臼、軟組織損傷の診断、処置について	顎顔面外科学	池谷美和
6月12日	日			
6月13日	試験 9 (3x5=15問)			

	ユニット	テーマ	担当講座	講義責任者
6月14日	火 ぶつけた2 (歯牙脱臼)	エックス線検査と歯の外傷	放射線科	池島 厚
6月15日	水 ぶつけた3 (歯牙脱臼)	小児期の外傷について	小児歯科	松根健介
6月16日	木 ぶつけた4 (歯牙脱臼)	歯牙破折の診断と処置について	歯内療法	川島 正
6月17日	金 ぶつけた5 (顎骨骨折)	顎骨骨折の診断, 処置について	顎顔面外科	池谷美和
6月18日	土 ぶつけた6 (顎骨骨折)	顎骨骨折の画像診断	放射線	小椋一郎
6月19日	日			
6月20日	月 試験10 (3x5=15問)			
6月21日	火 ぶつけた7 (顔面損傷)	顔面の損傷の診断, 処置について	顎顔面外科	池谷美和
6月22日	水 誤咬・咬傷	咬傷, 誤咬にて来院したとき	顎口腔義歯リハビリテーション学	河相安彦
6月23日	木 歯が欠けた	主訴「歯 (詰め物) が欠けた」保存領域として考えられること	う蝕抑制審美治療学	岡田珠美
6月24日	金 脱離・食片圧入1	主訴「詰め物が取れた・食べ物がはさまる・・・」保存領域として考えられること	う蝕抑制審美治療学	神谷直孝
6月25日	土 脱離・食片圧入2	支台築造の種類と方法	クラウンブリッジ	小林 平
6月26日	日			
6月27日	月 試験11 (3x5=15問)			
6月28日	火 脱離・食片圧入3	ferrul effectと歯冠補綴装置の種類と違い	クラウンブリッジ	小林 平
6月29日	水 脱離・食片圧入4	失活歯と生活歯の補綴治療における違い	クラウンブリッジ	後藤治彦
6月30日	木 脱離・食片圧入5	咬合調整の理論と運動	クラウンブリッジ	小林 平
7月1日	金 脱離・食片圧入6	会話, 咀嚼時の義歯不安定にて来院したとき (総義歯)	顎口腔義歯リハビリテーション学	菅野京子
7月2日	土 脱離・食片圧入7	会話, 咀嚼時の義歯不安定にて来院したとき (局部床義歯)	顎咬合機能治療学	石井智浩
7月3日	日			
7月4日	月 試験12 (3x5=15問)			
7月5日	火 脱離・食片圧入8	口腔乾燥による義歯脱離にて来院されたとき	口腔外科	原 正浩
7月6日	水 補綴物破折1	人工歯脱落破折, 床破折にて来院したとき (総義歯)	顎口腔義歯リハビリテーション学	河相安彦
7月7日	木 補綴物破折2	人工歯, 床, クラスプ破折にて来院したとき (局部床義歯)	顎咬合機能治療学	石井智浩
7月8日	金 補綴物破折3	人工歯, 床, クラスプ破折にて来院したとき (局部床義歯)	顎咬合機能治療学	石井智浩
7月9日	土 審美障害1	補綴装置の種類による変色の原因と対処法	クラウンブリッジ	小林 平
7月10日	日			
7月11日	月 試験13 (3x5=15問)			
7月12日	火 審美障害2	金属による歯肉着色の治療と対処法	クラウンブリッジ	小林 平
7月13日	水 審美障害3	辺縁歯肉の炎症や歯肉退縮	歯周治療学	高井英樹
7月14日	木 審美障害4	主訴「歯 (詰め物) の色・見た目が気になる・・・」保存領域として考えられること	う蝕抑制審美治療学	鈴木英明
7月15日	金 審美障害5	失活歯の変色の原因と処置方針について	歯内療法	川島 正
7月16日	土 審美障害6	審美性, 顔貌改善にて来院したとき (総義歯)	顎口腔義歯リハビリテーション学	宗 邦雄
7月17日	日			
7月18日	月			
7月19日	火 試験14 (3x5=15問)			
7月20日	水 審美障害7	審美性, 顔貌改善にて来院したとき	口腔機能学	川原美佐雄
7月21日	木 咀嚼障害1	歯の欠損様式の違いによる補綴治療の分類	クラウンブリッジ	小林 平
7月22日	金 咀嚼障害2	動揺の原因を診断・処置法, 歯肉再生療法	歯周治療学	自澤 優

	ユニット	テーマ	担当講座	講義責任者
7月23日 土	咀嚼障害3	インプラントによる欠損補綴	インプラント	小林 平
7月24日 日				
7月25日 月				
7月26日 火				
7月27日 水				
7月28日 木				
7月29日 金				
7月30日 土				
7月31日 日				
8月1日 月				
8月2日 火				
8月3日 水				
8月4日 木				
8月5日 金				
8月6日 土				
8月7日 日				
8月8日 月				
8月9日 火				
8月10日 水				
8月11日 木				
8月12日 金				
8月13日 土				
8月14日 日				
8月15日 月				
8月16日 火				
8月17日 水				
8月18日 木				
8月19日 金				
8月20日 土				
8月21日 日				
8月22日 月	試験15 (3x4=12問)			
8月23日 火	咀嚼障害4	顎関節の機能診断と治療法	口腔機能学	小原山 道
8月24日 水	発音障害1	発音障害にて来院したとき (総義歯)	顎口腔義歯リハビリテーション学	宗 邦雄
8月25日 木	発音障害2	発音障害にて来院したとき	口腔機能学	鈴木浩司
8月26日 金	治療中気分不快	治療中気分不快を訴えた (神経ショック, 低血糖発作)	麻酔科	塚村麻由
8月27日 土				
8月28日 日				
8月29日 月	試験16 (3x4=12問)			
8月30日 火	局所麻酔後	局所麻酔による合併症 (アナフィラキシーショック)	麻酔科	塚村麻由

		ユニット	テーマ	担当講座	講義責任者
8月31日	水	飲み込めない	摂食嚥下障害について	障害者	野本たかと
9月1日	木	歯をみてほしい1	障害者の特徴・行動調整について	障害者	梅澤幸司
9月2日	金	飲み込めない2	嚥下障害, 新義歯作製後の嘔吐にて来院 (総義歯)	顎口腔義歯リハビリテーション学	菅野京子
9月3日	土				
9月4日	日				
9月5日	月	試験17 (3x4=12問)			
9月6日	火	飲み込めない3	嚥下障害, 新義歯作製後の嘔吐にて来院したとき・・・	口腔機能学	鈴木浩司
9月7日	水	歯がカタガタしている	発現要因・アーチレングスディスプレイバンシー・抜歯基準	矯正	斎藤勝彦
9月8日	木	歯並び隙間がある	空隙歯列, 正中離開の原因・治療方法	矯正	斎藤勝彦
9月9日	金	前歯が出ている	上顎前突の発現要因・治療方法	矯正	五関たけみ
9月10日	土	前歯が反対に咬んでいる	骨格性, 機能性反対咬合の特徴・治療方法	矯正	五関たけみ
9月11日	日				
9月12日	月	試験18 (3x5=15問)			
9月13日	火				
9月14日	水				
9月15日	木				
9月16日	金				
9月17日	土				
9月18日	日				
9月19日	月				
9月20日	火	定期試験			
9月21日	水				
9月22日	木				
9月23日	金				
9月24日	土				
9月25日	日				
9月26日	月				
9月27日	火				
9月28日	水				
9月29日	木				
9月30日	金	再試験			

講義日 時限 ユニット番号  
4月4日 1時限目 F-3-4) -(1)

---

担当者名 西山典宏

一般目標 GIO: 成形修復材料, 歯質接着について理解するために, 成形修復材料の組成, 接着技法などについて学習する。

到達目標 SBOs:

- 1) 成形修復材料の種類, 組成および性質について説明できる。
- 2) レジンが歯質に接着する機構および術式について説明できる。

キーワード

コンポジットレジン グラスアイオノマーセメント レジンの歯質への接着機構  
コアカリキュラム

F-3-4) -(1)②修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
4月5日 1時限目 E-1

---

担当者名 谷本安浩

一般目標 GIO: 印象採得, 石膏模型作製および義歯床作製を適切に行なうために, 印象材, 歯科用石膏および義歯床用レジンの材料学的特徴について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 印象材の種類, 組成および性質を説明できる。
- 2) 歯科用石膏の種類, 組成および性質を説明できる。
- 3) 義歯床用レジンの種類, 組成および性質を説明できる。

キーワード

印象材 歯科用石膏 義歯床用レジン  
コアカリキュラム

E-2①印象材の種類と性質を説明できる。E-2②歯科用石膏の種類と特性を説明できる。E-2④レジンの重合, 金属の鋳造・熱処理およびポーセレン焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。

講義日	時限	ユニット番号
4月6日	1時限目	E-1

担当者名 森俊幸

一般目標 GIO： 保存修復処置に用いる器材を適切に取り扱えるようになるために，器材の名称，使用方法，特徴について理解する。

到達目標 SBOs：

- 1) 各種修復材料の名称，使用方法および特徴について説明できる。
- 2) 各種修復材料の使用上の注意点について理解する。
- 3) 切削器材の名称，使用方法および特徴について説明できる。
- 4) 切削器材の使用上の注意点について理解する。

キーワード

切削器材 修復材料

コアカリキュラム

E-1④接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。E-2⑤切削・研磨用材料と使用機器の特徴を説明できる。

---

講義日	時限	ユニット番号
4月7日	1時限目	F-3-3) -(2)

担当者名 川島正

一般目標 GIO： 歯髄炎・根尖性歯周炎を適切に処置できるように，根管治療の各ステップに用いる材料について理解する。

到達目標 SBOs：

- 1) 根管洗浄剤を説明できる。
- 2) 根管消毒剤を説明できる。
- 3) 根管充填に用いる材料を説明できる。

キーワード

根管治療 根管洗浄剤 根管消毒剤 根管充填材

コアカリキュラム

講義日	時限	ユニット番号
4月8日	1時限目	F-3-4) -(1), F-3-4) -(2)

担当者名 曾田雅啓

一般目標 GIO: 歯冠補綴処置を行う際の診療過程を学び、その過程で使用する材料について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 支台築造を行う際の理論を学び、使用する器具および材料について説明できる。
- 2) 支台歯形成を行う際の理論を学び、使用する器具および材料について説明できる。
- 3) 印象採得を行う際の理論を学び、使用する器具および材料について説明できる。
- 4) 咬合採得を行う際の理論を学び、使用する器具および材料について説明できる。
- 5) 蝟型採得を行う際の理論を学び、使用する器具および材料について説明できる。
- 6) 鋳造を行う際の理論を学び、使用する器具および材料について説明できる。
- 7) 仮着の意義を理解し、仮着剤について説明できる。
- 8) 合着用セメントの種類とそれぞれの特徴を説明できる。

キーワード

支台築造 印象採得 鋳造

コアカリキュラム

F-3-4) -(1)⑥支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。F-3-4) -(1)⑦窩洞形成と支台歯形成の意義と方法を説明できる。F-3-4) -(2)⑥橋義歯の製作に必要な材料の特性と各基本的操作を説明できる。F-3-4) -(2)⑦橋義歯製作のための咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。

---

講義日	時限	ユニット番号
4月9日	1時限目	F-3-4) -(3), F-3-4)

担当者名 矢崎貴啓

一般目標 GIO: 歯の欠損における可撤性義歯による補綴治療を適切に行うために、可撤性義歯製作に必要な歯科材料の基本的性質と取り扱いについて理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 義歯床用材料の種類、組成および性質について説明できる。
- 2) 維持装置および連結装置用材料を列挙し、説明することができる。
- 3) 欠損補綴における印象用材料のを列挙し、説明することができる。
- 4) 欠損補綴における咬合採得用材料について説明できる。
- 5) 人工歯の種類とその特徴を説明できる。
- 6) 可撤性義歯の適合試験用材料を列挙し、説明することができる。
- 7) 義歯床用裏装材（リライン材）の種類とその性質について説明できる。

キーワード

可撤性義歯 義歯用材料 義歯床用材料 人工歯 印象材

コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。

講義日 時限 ユニット番号  
4月12日 1時限目 B-2, B-2-1), B-2-2)

---

担当者名 青木伸一郎

一般目標 GIO: 信頼関係を確立するために、コミュニケーションの基本的スキルを理解し、さらに医療現場で良好な患者-歯科医師関係を築くために必要な医療面接の基本的な知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) コミュニケーションの目的と技法を説明できる。
- 2) 医療面接の役割を説明できる。
- 3) 医療面接の4要素(尋ねる, 聴く, 答える, 観察する)について説明できる。
- 4) 医療面接の進め方について説明できる。
- 5) 感情面の対応を説明することができる。
- 6) 臨床推論における方法論を説明することができる。

キーワード

医療面接 コミュニケーション 対人関係能力 医療面接態度 臨床推論  
コアカリキュラム

B-2-1) ①コミュニケーションの目的と技法を説明できる。B-2-1) ②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。B-2-2) ①医療面接の役割を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
4月13日 1時限目 F-1

---

担当者名 岡本康裕

一般目標 GIO: 口腔・顎顔面の診察, 検査, 診断を行うために必要な基本的検査の知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 初診時の口腔内診査について説明できる。
- 2) 予診時の口腔内診査について説明できる。
- 3) POMRについて説明できる。
- 4) 各種口腔機能検査の方法を説明できる。

キーワード

初診 予診 POMR  
コアカリキュラム

F-1-1) ⑦患者の訴えの中から主訴を的確に捉えることができる。F-1-1) ⑧的確な病歴聴取(現病歴, 既往歴, 家族歴, 薬歴等)を行い, 必要な部分を抽出できる。F-1-1) ⑨問診, 視診, 触診および打診等によって患者の現症を的確に捉えることができる。F-1-1) ⑩基本的診察を行った後, 次に必要となる検査を想定できる。

講義日 時限 ユニット番号  
4月14日 1時限目 F-1

---

担当者名 岡本康裕

一般目標 GIO: 口腔・顎顔面の診察, 検査, 診断を行うために必要な基本的検査の知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 診察, 検査および診断に必要な事項を列挙できる。
- 2) 口腔内診査の診査法を説明できる。
- 3) 口腔内診査により得られる所見を説明できる。
- 4) 各種検査の基準値を知り, 異常値の意味を説明できる。

キーワード

口腔内診査 正常所見 異常所見

コアカリキュラム

F-1-1) ⑦患者の訴えの中から主訴を的確に捉えることができる。F-1-1) ⑧的確な病歴聴取(現病歴, 既往歴, 家族歴, 薬歴等)を行い, 必要な部分を抽出できる。F-1-1) ⑨問診, 視診, 触診および打診等によって患者の現症を的確に捉えることができる。F-1-1) ⑩基本的診察を行った後, 次に必要となる検査を想定できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
4月15日 1時限目 F-2-4) -(7)

---

担当者名 布施恵

一般目標 GIO: 患者データ分析ができるようになるために必要な検査の知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 臨床検査の目的を説明できる。
- 2) 貧血, 出血性素因, 感染症, 糖尿病について説明できる。
- 3) 基準値について説明できる。

キーワード

貧血 出血性素因 感染症 糖尿病 基準値

コアカリキュラム

F-2-4) -(7) ①口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血, 出血性素因, 白血病)とスクリーニング検査法を列挙できる。F-2-4) -(7) ②口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。

講義日	時限	ユニット番号
4月16日	1時限目	D-4-4), D-4-6), F-2-4) -(7)

---

担当者名 竹内麗理

一般目標 GIO: ユニット「病態」では、全14回の講義の中で炎症と疼痛について学ぶ。さらにこれらに関連する知識を身につける。具体的には、口腔顎顔面領域の炎症性疾患とその原因、口腔顎顔面領域の構造、炎症に関する病理・生理・生化学的基礎、免疫系の基礎、疼痛に関する生理学的基礎、炎症と疼痛に対する薬物の基礎についての知識を身につける。

到達目標 SBOs:

1) ユニット「病態」を説明できる。

キーワード

炎症 疼痛

コアカリキュラム

---

講義日	時限	ユニット番号
4月19日	1時限目	F-3-3) -(2)

---

担当者名 岡部達

一般目標 GIO: 適切な歯髄炎・根尖性歯周炎の診断および処置方針の決定が出来る様になるために、一般組織との対比をしながら、歯髄炎・根尖性歯周炎の進行の特徴を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯髄炎・根尖性歯周炎の原因を説明できる。
- 2) 歯髄炎の進行の特徴を説明できる。
- 3) 根尖性歯周炎の進行の特徴を説明できる。
- 4) 可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎を説明できる。

キーワード

歯髄炎 根尖性歯周炎 可逆性歯髄炎 不可逆性歯髄炎

コアカリキュラム

講義日 時限 ユニット番号  
4月20日 1時限目 D-4, D-4-4)

---

担当者名 原正浩

一般目標 GIO: 口腔顎顔面領域に生じる炎症性疾患の成因, 病態, 診断, 治療を学び理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 顎骨に生じる炎症性疾患の成因, 病態, 診断, 治療を述べることができる。
- 2) 組織隙に生じる炎症性疾患の成因, 病態, 診断, 治療を述べることができる。
- 3) 副鼻腔に生じる炎症性疾患の成因, 病態, 診断, 治療を述べることができる。

キーワード

炎症 顎骨 組織隙 副鼻腔

コアカリキュラム

D-4-4) ①炎症の定義を説明できる。D-4-4) ②炎症細胞の種類と働きを説明できる。D-4-4) ③炎症の分類, 病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。D-4-4) ④炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
4月21日 1時限目 F-1-2)

---

担当者名 森進太郎

一般目標 GIO: パノラマエックス線画像正常解剖が読影できる。

到達目標 SBOs:

- 1) パノラマエックス線撮影の撮影原理を説明できる。
- 2) パノラマエックス線画像のエックス線解剖を説明できる。
- 3) 障害陰影について説明できる。

キーワード

パノラマエックス線検査 エックス線解剖

コアカリキュラム

F-1-2) ④エックス線画像の形成原理を説明できる。F-1-2) ⑥口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。F-1-2) ⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い, 読影できる。

講義日 時限 ユニット番号  
4月22日 1時限目 F-2, F-2-1) , F-2-2)

---

担当者名 松野昌展

一般目標 GIO: 炎症の波及経路や皮膚, 粘膜を切開する術式を理解するために上顎領域の骨, 筋, 神経, 血管などの構造, 位置関係を説明できる。

到達目標 SBOs:

- 1) 上顎骨の構造を説明できる。
- 2) 副鼻腔の構造を説明できる。
- 3) 翼口蓋窩の構造を説明できる。
- 4) 口蓋の構造を説明できる。
- 5) 表情筋の構造を説明できる。
- 6) 上顎骨周囲の神経の走行を説明できる。
- 7) 上顎骨周囲の血管の走行を説明できる。

キーワード

上顎骨 上顎洞 翼口蓋窩 三叉神経 顎動脈  
コアカリキュラム

F-2-1) ①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。F-2-1) ②咀嚼筋, 表情筋, 前頸筋の構成と機能を説明できる。F-2-1) ③頭頸部の脈管系を説明できる。F-2-1) ④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
4月23日 1時限目 D-5

---

担当者名 竹内麗理

一般目標 GIO: 薬物療法を理解するために, 抗炎症薬, 鎮痛薬について学ぶ。

到達目標 SBOs:

- 1) 抗炎症薬の種類と作用機序と臨床応用について説明できる。
- 2) 鎮痛薬の種類と作用機序と臨床応用について説明できる。

キーワード

ステロイド性抗炎症薬 非ステロイド性抗炎症薬 消炎酵素薬 解熱鎮痛薬 麻薬性鎮痛薬  
コアカリキュラム

講義日 時限 ユニット番号  
4月26日 1時限目 D-3-1)

---

担当者名 高田和子

一般目標 GIO: 微生物による口腔感染症成立機序と病原性を理解するために, 必要な知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) う蝕原性細菌の種類とその病原因子を説明できる。
- 2) 歯周病原菌の種類とその病原因子を説明できる。

キーワード

微生物 う蝕 歯周疾患

コアカリキュラム

D-3-1) ②細菌, 真菌, ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染成立の機序とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
4月27日 1時限目 D-3-2)

---

担当者名 山本正文

一般目標 GIO: 免疫応答がいかにして誘導されるかを理解するために, 免疫機構の基本的事項を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) パターン認識と抗原特異性の違いについて説明できる。
- 2) 免疫担当細胞の種類を説明できる。
- 3) 体液性免疫について説明できる。
- 4) 細胞性免疫について説明できる。

キーワード

免疫担当細胞 体液性免疫 細胞性免疫

コアカリキュラム

D-3-2) ①自然免疫と獲得免疫について説明できる。D-3-2) ②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。D-3-2) ③免疫担当細胞の種類と働きを説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
4月28日 1時限目 D-4-4)

---

担当者名 久山佳代

一般目標 GIO: 炎症の病因・病態について学習する。

到達目標 SBOs:

- 1) 炎症の定義を述べることができる。
- 2) 炎症の5徴候を列挙できる。
- 3) 炎症の病理組織学的変化を説明できる。
- 4) 炎症の原因と病態を説明できる。
- 5) 炎症性細胞の種類と働きを述べることができる。

キーワード

炎症 炎症性細胞 5徴候

コアカリキュラム

D-4-4) ①炎症の定義を説明できる。D-4-4) ②炎症細胞の種類と働きを説明できる。D-4-4) ③炎症の分類, 病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。D-4-4) ④炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
4月30日 1時限目 D-1, D-1-1), D-1-4)

---

担当者名 城座映明

一般目標 GIO: 炎症を生化学的に理解するために, 炎症時の化学伝達物質, アラキドン酸カスケードを学習する。

到達目標 SBOs:

- 1) 血液細胞の分化を説明できる。
- 2) 結合組織を説明できる。
- 3) 炎症の概要を説明できる。
- 4) 炎症時の化学伝達物質を説明できる。
- 5) アラキドン酸カスケードを説明できる。

キーワード

脂質の構造と機能 結合組織 化学伝達物質 アラキドン酸カスケード

コアカリキュラム

D-1-1) ①タンパク質の構造, 機能および代謝を説明できる。D-1-1) ③脂質の構造, 機能および代謝を説明できる。D-1-4) ②細胞間と細胞・マトリックス間の接着分子を説明できる。D-1-4) ⑤主な細胞外マトリックス分子の構造と働きを説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
5月2日 1時限目 D-4-6), D-2-3) -(4), D-2-3) -(5)

---

担当者名 加藤治

一般目標 GIO: 疼痛の成立機構を理解するために、侵害受容器と感覚伝導路を学ぶ。

到達目標 SBOs:

- 1) 疼痛の種類を説明できる。
- 2) 疼痛の成立機構を説明できる。
- 3) 侵害受容器を説明できる。
- 4) 感覚伝導路を説明できる。

キーワード

疼痛物質 侵害受容器 感覚神経

コアカリキュラム

D-4-6) ①疼痛の種類を説明できる。D-4-6) ②疼痛の発生機序を説明できる。D-2-3) -(4) ①皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。D-2-3) -(5) ②末梢神経系の機能分類(体性神経系と自律神経系)を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
5月6日 1時限目 F-2, F-2-1), F-2-2)

---

担当者名 松野昌展

一般目標 GIO: 炎症の波及経路や皮膚、粘膜を切開する術式を理解するために下顎領域の骨、筋、神経、血管などの構造、位置関係を説明できる。

到達目標 SBOs:

- 1) 下顎骨の構造を説明できる。
- 2) 咀嚼筋の構造を説明できる。
- 3) 組織隙の位置を説明できる。
- 4) 各隙に存在する神経の走行を説明できる。
- 5) 各隙に存在する血管の走行を説明できる。

キーワード

下顎骨 組織隙 三叉神経 顔面動脈 舌動脈

コアカリキュラム

F-2-1) ①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。F-2-1) ②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。F-2-1) ③頭頸部の脈管系を説明できる。F-2-1) ④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
5月7日 1時限目 F-1-3) -(3)

---

担当者名 石橋肇

一般目標 GIO: 無痛的な歯科治療を行うために、局所麻酔の基礎と臨床を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 局所麻酔薬の種類を説明できる。
- 2) 局所麻酔薬の作用機序を説明できる。
- 3) 局所麻酔薬の作用に影響する因子を説明できる。
- 4) 局所麻酔法の種類を述べることができる。

キーワード

浸潤麻酔 伝達麻酔 局所麻酔薬

コアカリキュラム

F-1-3) -(3)②局所麻酔薬を分類し、その作用機序を説明できる。F-1-3) -(3)③局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。F-1-3) -(3)⑤局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。

=====  
講義日 時限 ユニット番号  
5月10日 1時限目 F-3-4)

---

担当者名 小林平

一般目標 GIO: 咬合痛の原因となる咬合性外傷の診断、症状の分類、治療方法を理解し、症状の軽減をはかることができる理論を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 咬合性外傷の原因を説明できる。
- 2) デンタルエックス線写真から咬合性外傷を推察することが出来る。
- 3) 咬合性外傷の症状を分類できる。
- 4) 咬合性外傷の治療方法を理解する。

キーワード

咬合性外傷 歯根破折 咬合調整 咬合干渉

コアカリキュラム

F-3-4) -(1)⑫歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。F-3-4) -(2)⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。

講義日 時限 ユニット番号  
5月11日 1時限目 F-3-4)

---

担当者名 後藤治彦

一般目標 GIO: 補綴装置装着後に発生する問題に対応するため、発生した問題の原因、解決法および予防法を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 補綴装置装着後に発生する問題を説明できる。
- 2) 発生した問題の原因を推測できる。
- 3) 発生した問題の解決法をあげることができる。
- 4) 問題発生予防法を説明できる。

キーワード

歯根破折 咬合痛 診査 診断  
コアカリキュラム

---

講義日 時限 ユニット番号  
5月12日 1時限目 F-3-4) -(3)

---

担当者名 宗邦雄

一般目標 GIO: 全部床義歯における疼痛の原因を診査、診断し治療計画立案に必要な知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 全部床義歯における疼痛の原因を診査できる。
- 2) 顎堤粘膜にできる病変を説明できる。
- 3) 義歯床の適合検査法を説明できる。
- 4) 診査に使用する器材について説明できる。
- 5) 咬合関係の診査方法を説明できる。
- 6) リリーフについて説明できる。
- 7) 義歯調整の方法を述べることができる。

キーワード

全部床義歯 疼痛 リリーフ 義歯調整 咬合調整  
コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑬可撤性義歯の調整、リライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。

講義日 時限 ユニット番号  
5月13日 1時限目 F-3-4) -(3)

---

担当者名 河相安彦

一般目標 GIO: 疼痛を訴える総義歯装着者の問題を解決するための関連事項に関する知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 疼痛に関連する義歯の要因を列挙できる
- 2) 疼痛に関する要因に関連する治療法を列挙できる
- 3) 主訴に対する治療計画を立案できる

キーワード

全部床義歯 疼痛

コアリキュラム

F-3-4) -(3) ⑩可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
5月14日 1時限目 F-3-4) -(3)

---

担当者名 石井智浩

一般目標 GIO: 局部床義歯における疼痛の原因を診査し、義歯調整について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 局部床義歯における疼痛の原因を診査できる。
- 2) 顎堤粘膜にできる病変を説明できる。
- 3) 義歯床の適合検査法を説明できる。
- 4) 診査に使用する器材について説明できる。
- 5) 咬合関係の診査法を説明できる。
- 6) 義歯調整の方法を述べることができる。

キーワード

疼痛 義歯調整 咬合調整

コアリキュラム

F-3-4) -(3) ⑬可撤性義歯の調整、リライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。

講義日 時限 ユニット番号  
5月17日 1時限目 F-2, F-2-4) , F-2-4) -(7)

---

担当者名 原正浩

一般目標 GIO: 口腔外科臨床でよく見られる, 歯の疼痛の原因となる疾患の成因, 病態, 診断, 治療を学び理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 根尖性歯周炎の成因, 病態, 診断, 治療法を述べることができる。
- 2) 辺縁性歯周炎の成因, 病態, 診断, 治療法を述べることができる。
- 3) 智歯周囲炎の成因, 病態, 診断, 治療法を述べることができる。

キーワード

疼痛 根尖性歯周炎 辺縁性歯周炎 智歯周囲炎  
コアカリキュラム

---

---

講義日 時限 ユニット番号  
5月18日 1時限目 F-3-3) -(3)

---

担当者名 大橋頭二郎

一般目標 GIO: 歯周疾患により生じる咬合痛の原因と, その治療法を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯周組織を理解する。
- 2) 咬合痛の原因を列挙できる。
- 3) 咬合痛に対する処置を列挙できる。

キーワード

歯周病 咬合痛 歯周治療  
コアカリキュラム

F-3-3) -(3) ①歯周疾患の症状を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
5月19日 1時限目 F-3-2), F-3-3), F-3-3) -(1), F-3-3) -(4)

---

担当者名 平山聡司

一般目標 GIO: 歯の痛みの中でも冷水に対して痛みを感じたり、咬合痛を訴える患者に対して鑑別診断が行なえるようになるために、適切な検査法と象牙質の知覚伝導のメカニズムおよび特徴的な臨床症状について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 象牙質の知覚伝導システムについて説明できる。
- 2) 温度診の検査法とその結果から歯髄の状態について説明できる。
- 3) 象牙質齶蝕の進行程度と歯髄反応について説明できる。
- 4) 象牙質齶蝕を伴う歯の処置方針について説明できる。
- 5) 象牙質知覚過敏症の臨床的特徴について説明できる。
- 6) 象牙質知覚過敏症の治療方法を列挙できる。

キーワード

冷水痛 咬合痛 象牙質知覚過敏症 齶蝕 象牙質知覚伝導システム  
コアカリキュラム

F-3-2) ⑥歯痛の機序を説明できる。F-3-3) -(1)①う蝕の症状と診断を説明できる。F-3-3) -(2)③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
5月20日 1時限目 F-3-3) -(2)

---

担当者名 川島正

一般目標 GIO: 歯髄炎・根尖性歯周炎の診断を適切に行えるために、歯髄炎・根尖性歯周炎の痛みの発言、感受性を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯および根尖性歯周炎の痛みの伝達経路を説明できる。
- 2) 炎症と発痛物質を説明できる。
- 3) 歯髄の疼痛の特徴を説明できる。
- 4) 歯髄に分布する神経線維を説明できる。
- 5) 根尖性歯周組織の疼痛の特徴を説明できる。
- 6) 非歯原性疼痛を説明できる。

キーワード

歯髄の疼痛 根尖性歯周組織の疼痛 非歯原性疼痛  
コアカリキュラム

講義日 時限 ユニット番号  
5月21日 1時限目 F-4-2)

---

担当者名 清水邦彦

一般目標 GIO: 乳歯及び幼若永久歯の冷水痛および咬合痛に対応するために、乳歯及び幼若永久歯の歯髄疾患を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 乳歯及び幼若永久歯の歯髄疾患の診査を説明できる。
- 2) 乳歯及び幼若永久歯の歯髄疾患の診断ができる。
- 3) 乳歯及び幼若永久歯の歯髄疾患の治療法を説明できる。

キーワード

小児 乳歯 幼若永久歯 歯髄疾患

コアカリキュラム

F-4-2) ④乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎の診察, 検査と診断を説明できる。F-4-2) ⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄炎の処置法の種類と適応症, 予後および手順と留意点を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
5月24日 1時限目 F-4-3), F-3-4) -(3)

---

担当者名 川良美佐雄

一般目標 GIO: 高齢者の補綴歯科治療を円滑に行うために、加齢に伴う歯、顎、口腔の変化と、生理的、精神的特徴を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 加齢に伴う歯、顎、口腔の変化を説明できる。
- 2) 加齢に伴う口腔の生理的変化、機能的変化を説明できる。
- 3) 高齢者の精神的、心理的特徴を説明できる。
- 4) 高齢者義歯治療の印象採得時における注意点を説明できる。
- 5) 高齢者義歯治療の咬合採得時における注意点を説明できる。
- 6) 介護者へ義歯取り扱いの注意点について説明できる。

キーワード

高齢者 可撤性義歯 加齢変化

コアカリキュラム

F-3-4) -(2) ⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察, 検査ならびに診断ができる。F-3-4) -(3) ①可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。F-4-3) ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。F-4-3) ①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
5月25日 1時限目 F-2, F-2-4), F-2-4) -(7)

---

担当者名 原正浩

一般目標 GIO: 有床義歯の処置を適切に行うために、粘膜疾患の成因、病態、診断、治療を学び理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) フラビーガムの成因、病態、診断、治療法を述べることができる。
- 2) 義歯性線維腫の成因、病態、診断、治療法を述べることができる。
- 3) 扁平苔癬の成因、病態、診断、治療法を述べることができる。
- 4) 白板症の成因、病態、診断、治療法を述べることができる。
- 5) その他粘膜疾患の成因、病態、診断、治療法を述べることができる。

キーワード

フラビーガム 義歯性線維腫 扁平苔癬 白板症  
コアカリキュラム

---

講義日 時限 ユニット番号  
5月26日 1時限目 D-4-5), F-2-4) -(7)

---

担当者名 久山佳代

一般目標 GIO: 口腔粘膜に発生する腫瘍を分類し、病理組織学的特徴を説明できる。

到達目標 SBOs:

- 1) 腫瘍の定義を説明できる。
- 2) 良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点を挙げられる。
- 3) 非歯原性腫瘍を列挙できる。
- 4) 非歯原性腫瘍の病理組織学的特徴を説明できる。

キーワード

非歯原性腫瘍 良性腫瘍 悪性腫瘍  
コアカリキュラム

D-4-5) ②腫瘍の組織発生を説明できる。D-4-5) ③増殖性病変の多様性、形態およびその意義を説明できる。F-2-4) -(3) ②良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。F-2-4) -(3) ④非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。

講義日 時限 ユニット番号  
5月27日 1時限目 F-2-4)

---

担当者名 菅野京子

一般目標 GIO: 全部床義歯の粘膜病変に対応するために原因から診断を行い、対処するための知識を習得する

到達目標 SBOs:

- 1) 義歯性潰瘍の原因および診断と処置方法を説明できる
- 2) 義歯性線維腫の原因および診断と処置方法を説明できる
- 3) 義歯性口内炎の原因および診断と処置方法を説明できる
- 4) フラビーガムの原因および診断と処置方法を説明できる

キーワード

全部床義歯 義歯性潰瘍 義歯性線維腫 義歯性口内炎 フラビーガム  
コアカリキュラム

F-2-4) -(2)①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる

---

講義日 時限 ユニット番号  
5月28日 1時限目 D-4-6), F-2-4) -(4)

---

担当者名 池谷美和

一般目標 GIO: 顎関節の痛みを主訴とする疾患について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 顎関節内障の病態生理を説明できる。
- 2) 変形性関節症の病態生理を説明できる。
- 3) その他顎関節部の疼痛をきたす疾患を述べる事が出来る。

キーワード

顎関節 疼痛 顎関節症  
コアカリキュラム

F-2-4) -(4)①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。F-2-4) -(4)②顎関節疾患(外傷, 脱臼, 顎関節症, 顎関節強直症)を概説できる。

講義日 時限 ユニット番号  
5月31日 1時限目 F-1-2)

---

担当者名 小椋一朗

一般目標 GIO: 顎関節疾患の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) パノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。
- 2) 頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。
- 3) エックス線CT装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。
- 4) 磁気共鳴撮像装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。

キーワード

顎関節

コアカリキュラム

F-1-2) ⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。F-1-2) ⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。F-1-2) ⑨超音波装置、エックス線CT および磁気共鳴撮像装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
6月1日 1時限目 F-2, F-2-4), F-2-4) -(7)

---

担当者名: 原正浩, 西村均

一般目標 GIO: 口腔外科臨床でよく見られる、舌に生じる疼痛の原因となる疾患の成因、病態、診断、治療を学び理解する。

到達目標: SBOs:

- 1) 舌炎の成因、病態、診断、治療法を述べることができる。
- 2) 舌痛症の成因、病態、診断、治療法を述べることができる。
- 3) 舌の悪性腫瘍の成因、病態、診断、治療法を述べることができる。
- 4) その他、舌に生じる疼痛の病態、診断、治療法を述べることができる。

キーワード

疼痛 舌炎 舌痛症 舌癌

コアカリキュラム

講義日 時限 ユニット番号  
6月2日 1時限目 F-2, F-2-4) , F-2-4) -(7)

---

担当者名 田島秀人, 原正浩

一般目標 GIO: 口腔外科臨床でよく見られる, 口腔顎顔面領域に生じる顔面の腫脹の原因となる疾患の成因, 病態, 診断, 治療を学び理解する。

到達目標 SBOs:

1) 口腔顎顔面領域に生じる炎症性疾患の成因, 病態, 診断, 治療法を述べることができる。

キーワード

口底炎 顎骨炎 智歯周囲炎 副鼻腔炎

コアカリキュラム

---

講義日 時限 ユニット番号  
6月3日 1時限目 F-2, F-2-4) , F-2-4) -(7)

---

担当者名 原正浩

一般目標 GIO: 口腔外科臨床でよく見られる, 歯肉の腫脹の原因となる疾患の成因, 病態, 診断, 治療を学び理解する。

到達目標 SBOs:

1) 歯肉の腫脹の原因となる疾患の成因, 病態, 診断, 治療法を述べることができる。

キーワード

歯肉の腫脹 歯肉炎 歯周炎 智歯周囲炎 その他, 炎症性疾患

コアカリキュラム

講義日 時限 ユニット番号  
6月4日 1時限目 F-4-2)

---

担当者名 小川京

一般目標 GIO: 小児の歯科疾患の診断及び治療ができるようになるために、小児期に歯肉が腫れる疾患について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 乳歯および幼若永久歯の根尖性歯周炎について説明できる。
- 2) 小児の歯周疾患について説明できる。
- 3) 小児期に歯肉の腫れる疾患の鑑別ができる。
- 4) 小児期の歯肉腫脹の原因を説明できる。

キーワード

小児 歯肉 腫脹 根尖性歯周炎 歯周疾患  
コアカリキュラム

---

講義日 時限 ユニット番号  
6月7日 1時限目 F-3-3)

---

担当者名 鈴木桃子

一般目標 GIO: 歯肉の炎症について原因を診断し、処置法を説明できる。

到達目標 SBOs:

- 1) 正常な歯周組織について説明できる。
- 2) 歯肉の腫脹の原因について列挙できる。
- 3) 歯周基本治療について説明できる。
- 4) 歯肉増殖について説明できる。
- 5) 歯肉膿瘍の処置法について説明できる。

キーワード

歯周基本治療 歯肉の炎症 歯肉増殖 歯肉膿瘍  
コアカリキュラム

F-3-3) -(3)②歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
6月8日 1時限目 F-2-4) -(4)

---

担当者名 池谷美和

一般目標 GIO: 開口障害を主訴とする疾患を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 顎関節内障の治療法を説明できる。
- 2) 変形性関節症の治療法を説明できる。
- 3) 顎関節疾患の保存療法・外科療法を説明できる。

キーワード

顎関節 顎関節症 治療法

コアカリキュラム

F-2-1) ⑤顎関節の構造と機能を説明できる。F-2-4) -(4) ①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。F-2-4) -(4) ②顎関節疾患 (外傷, 脱臼, 顎関節症, 顎関節強直症) を概説できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
6月9日 1時限目 F-2-4) -(4)

---

担当者名 池谷美和

一般目標 GIO: 開口障害を主訴とする疾患を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 顎関節炎の病態機序が説明できる。
- 2) 顎関節炎の治療法が説明できる。

キーワード

顎関節 開口障害 腫瘍

コアカリキュラム

F-2-1) ⑤顎関節の構造と機能を説明できる。F-2-4) -(4) ①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。F-2-4) -(4) ②顎関節疾患 (外傷, 脱臼, 顎関節症, 顎関節強直症) を概説できる。

講義日 時限 ユニット番号  
6月10日 1時限目 F-2-4) -(4)

---

担当者名 池谷美和, 平塚浩一

一般目標 GIO: 開口障害を主訴とする疾患を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 顎関節腫瘍の病態機序を説明できる。
- 2) 顎関節腫瘍の治療法を説明できる。
- 3) 骨・軟骨の代謝メカニズムを説明できる。

キーワード

開口障害 顎関節

コアカリキュラム

D-2-3) -(1)⑦硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。F-2-4) -(4)①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。F-2-4) -(4)②顎関節疾患(外傷, 脱臼, 顎関節症, 顎関節強直症)を概説できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
6月11日 1時限目 F-2-4) -(1)

---

担当者名 池谷美和

一般目標 GIO: 外傷を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 外傷歯(脱臼)の診断・治療法を説明することが出来る。
- 2) 軟組織損傷時の治療法を説明することが出来る。

キーワード

外傷 歯牙脱臼 軟組織損傷

コアカリキュラム

F-2-4) -(1)②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。F-2-4) -(1)③外傷時の検査法を列挙できる。F-2-4) -(1)④歯の外傷の症状と検査法を列挙し, 診断と治療法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
6月14日 1時限目 F-2-4) -(1)

---

担当者名 池島厚

一般目標 GIO: 歯の脱臼や破折の適切な画像検査法や鑑別診断ができるようになるために、画像検査法の種類やその適応、読影について習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 破折の画像検査法や鑑別診断が説明できる。
- 2) 歯の脱臼の画像検査法や鑑別診断が説明できる。

キーワード

破折 歯の脱臼

コアカリキュラム

F-2-4) -(1)②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
6月15日 1時限目 F-4-2)

---

担当者名 松根健介

一般目標 GIO: 小児の歯科疾患の診断及び治療ができるようになるために、小児期の外傷を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 外傷の特徴を説明できる。
- 2) 外傷の原因を説明できる。
- 3) 外傷による後遺症を説明できる。
- 4) 外傷による後継永久歯への影響を説明できる。
- 5) 乳歯の歯冠破折とその処置について説明できる。
- 6) 乳歯の歯根破折とその処置について説明できる。
- 7) 幼若永久歯の歯冠破折とその処置について説明できる。
- 8) 幼若永久歯の歯根破折とその処置について説明できる。

キーワード

小児の歯の外傷 歯根破折 歯冠破折 後継永久歯への影響

コアカリキュラム

F-4-2) ⑥小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
6月16日 1時限目 F-3-3) -(2)

---

担当者名 川島正

一般目標 GIO: 外傷による歯牙破折おける歯髄・根尖性歯周炎の適切な診断と処置ができるようになるために、歯髄・根尖性歯周炎の臨床症状、特徴および処置方針を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 外傷の原因について説明できる。
- 2) 外傷の分類について説明できる。
- 3) 外傷の診断および処置方針について説明できる。

キーワード

外傷の原因 外傷の分類 外傷の診断 外傷の処置方針  
コアカリキュラム

---

講義日 時限 ユニット番号  
6月17日 1時限目 F-2-4) -(1)

---

担当者名 池谷美和

一般目標 GIO: 外傷(骨折)について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 骨折の分類を列挙できる。
- 2) 下顎骨骨折の症状を説明できる。
- 3) 下顎骨骨折の診査法を説明できる。
- 4) 下顎骨骨折の治療法を説明できる。

キーワード

外傷 骨折 下顎骨骨折  
コアカリキュラム

F-2-4) -(1)⑤歯槽骨骨折、上顎骨骨折および下顎骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。F-2-4) -(1)⑥骨折の治療原則を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
6月18日 1時限目 F-1-2)

---

担当者名 小椋一朗

一般目標 GIO: 顎骨骨折の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。
- 2) 頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。
- 3) エックス線CT装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。

キーワード

顎骨骨折

コアカリキュラム

F-1-2) ⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。F-1-2) ⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。F-1-2) ⑨超音波装置、エックス線CTおよび磁気共鳴撮像装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
6月21日 1時限目 F-2-4) -(1)

---

担当者名 池谷美和

一般目標 GIO: 外傷(上顎骨骨折)について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 上顎骨骨折の診断が出来る。
- 2) 上顎骨骨折の症状を説明できる。
- 3) 上顎骨骨折の治療法を説明できる。

キーワード

外傷 骨折 上顎骨骨折

コアカリキュラム

F-2-1) ①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。F-2-4) -(1)③外傷時の検査法を列挙できる。F-2-4) -(1)⑤歯槽骨骨折、上顎骨骨折および下顎骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。F-2-4) -(1)⑥骨折の治療原則を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
6月22日 1時限目 F-3-4) -(3)

---

担当者名 河相安彦

一般目標 GIO: 咬傷・咬舌を訴える総義歯装着者の問題を解決するための関連事項に関する知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 咬傷の原因を説明できる
- 2) 咬舌の原因を説明できる
- 3) 症例の咬傷・咬舌の原因を特定できる
- 4) 症例の咬傷・咬舌の治療方針を計画できる

キーワード

コアカリキュラム

F-3-4) -(3) ⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
6月23日 1時限目 F-3-4)

---

担当者名 岡田珠美

一般目標 GIO: 修復物や歯牙の破折を主訴とする患者に適切な処置ができるようになるために、齶蝕や外傷などの破折の原因とその処置方針について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯の硬組織疾患の診断ができる
- 2) 直接・間接修復の破折の原因について説明できる
- 3) 直接・間接修復の修復物破折に対する適切な処置ができる
- 4) くさび状欠損, 咬耗, 摩耗, アブフラクションについて説明できる

キーワード

修復物破折 歯牙破折

コアカリキュラム

F-3-2) ①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。F-3-4) -(1) ⑫歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。

講義日 時限 ユニット番号  
6月24日 1時限目 F-3-4) -(1)

---

担当者名 神谷直孝

一般目標 GIO: 修復物脱離や食片圧入を主訴とする患者に適切に対処できるようになるために、修復物脱離・食片圧入の原因と処置方針および予防法について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 直接・間接修復における修復物脱離の原因について説明できる。
- 2) 直接・間接修復における脱離しにくい修復物の要件について説明できる。
- 3) 直接・間接修復の修復物脱離に対する適切な処置方針について説明できる。
- 4) 齶蝕が原因で生じる食片圧入について説明できる。
- 5) 不良修復物が原因で生じる食片圧入とその適切な対処法について説明できる。
- 6) 術後に食片圧入が生じないように留意した直接・間接修復処置について説明できる。

キーワード

直接修復 間接修復 修復物脱離 食片圧入  
コアカリキュラム

F-3-4) -(1)⑫歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。F-3-4) -(1)⑪修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
6月25日 1時限目 F-3-4) -(1)

---

担当者名 小林平

一般目標 GIO: 支台築造の種類と方法を理解し、症例に応じた築造方法の選択を行う知識を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 支台築造の臨床的意義を説明できる。
- 2) 成形材料による築造法を説明できる。
- 3) 成形材料と既製ポストによる築造法を説明できる。
- 4) 築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。
- 5) 鋳造支台築造による築造法を説明できる。

キーワード

鋳造支台築造 ファイバーコア 既製ポスト 根管形成  
コアカリキュラム

F-3-4) -(1)⑥支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
6月28日 1時限目 F-3-4) -(1)

---

担当者名 小林平

一般目標 GIO: 失活歯における Ferrul effect の必要性を理解し、脱離に抵抗する支台歯形成の形態を学び、歯質欠損の状況に応じた歯冠補綴装置の選択を行う知識を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) Ferrul effect について説明できる。
- 2) 歯冠補綴装置の脱離に抵抗する形態を理解する。
- 3) 歯質欠損に応じた支台歯形成の形態を理解する。

キーワード

Ferrul effect 歯冠補綴装置 支台歯形態 抵抗形態

コアカリキュラム

F-3-4) -(1)①歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。F-3-4) -(1)⑥支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。F-3-4) -(1)⑫歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
6月29日 1時限目 F-3-4)

---

担当者名 後藤治彦

一般目標 GIO: 生活歯と失活歯の補綴治療における相違を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 生活歯における補綴治療のステップを説明できる。
- 2) 失活歯における補綴治療のステップを説明できる。

キーワード

補綴処置 生活歯 失活歯

コアカリキュラム

講義日 時限 ユニット番号  
6月30日 1時限目 F-3-4) -(1), F-3-4) -(2)

---

担当者名 小林平

一般目標 GIO: 口腔の咬合状態の変化による、歯冠補綴装置の調整を行うために、咬合調整の理論と顎運動を理解し、必要な知識を取得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 顎運動を学ぶ。
- 2) 咬合調整の理論を理解する。
- 3) 口腔の加齢による変化を理解する。

キーワード

咬合調整 犬歯誘導 機能運動

コアカリキュラム

F-3-4) -(1)①歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。F-2-4) -(8)①咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。F-3-4) -(2)⑧橋義歯の維持管理の目的と方法を説明できる。F-3-4) -(3)⑨下顎運動の記録法を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
7月1日 1時限目 F-3-4) -(3)

---

担当者名 菅野京子

一般目標 GIO: 全部床義歯の脱離に対応するために必要な義歯および口腔内の診査・診断に関する知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 全部床義歯の特徴と構成要素を説明できる
- 2) 全部床義歯の維持に関与する因子を説明できる
- 3) 全部床義歯の支持に関与する因子を説明できる
- 4) 全部床義歯の安定に関与する因子を説明できる
- 5) 上顎の維持および脱離に関わる筋を説明できる
- 6) 下顎の維持および脱離に関わる筋を説明できる
- 7) 臼歯部人工歯排列の基準を説明できる
- 8) 全部床義歯の咬合様式を説明できる

キーワード

全部床義歯 維持 支持 安定 咬合

コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑬可撤性義歯の調整、リライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。

講義日 時限 ユニット番号  
7月2日 1時限目 F-3-4)-(3)

---

担当者名 石井智浩

一般目標 GIO: 局部床義歯における脱離, 維持不良, 義歯の不安定について原因の診査を行い, 適切な対応法について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 局部床義歯の維持機構について説明できる。
- 2) 局部床義歯の具備条件を説明できる。
- 3) 局部床義歯の把持機構を説明できる。
- 4) 局部床義歯の動きについて説明できる。
- 5) クラスピの具備条件について説明できる。
- 6) 間接支台(維持)装置について説明できる。
- 7) 局部床義歯の設計の原則について説明できる。

キーワード

維持機能 把持機能 義歯の設計 支台(維持)装置  
コアカリキュラム

F-3-4)-(3)⑬可撤性義歯の調整, リライニング, リベースおよび修理を説明でき, 適切に行うことができる。F-3-4)-(3)⑮可撤性義歯の支持機構, 把持機構および維持機構を説明できる。  
F-3-4)-(3)⑯可撤性義歯の設計原理を理解し, 口腔内診察, 検査, 診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
7月5日 1時限目 F-2,F-2-4),F-2-4)-(7)

---

担当者名 原正浩

一般目標 GIO: 有床義歯の処置を適切に行うために, 口腔乾燥症の成因, 病態, 診断, 治療を学び理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 口腔乾燥症を生じさせる薬剤について述べるができる。
- 2) 口腔乾燥症を生じさせる全身疾患について述べるができる。
- 3) 口腔乾燥症を生じさせる症候群について述べるができる。

キーワード

降圧剤 向精神薬 糖尿病 うつ病 シェーグレン症候群  
コアカリキュラム

講義日 時限 ユニット番号  
7月6日 1時限目 F-3-4) -(3)

---

担当者名 河相安彦

一般目標 GIO: 人工歯脱離または義歯破損を訴える全部床義歯患者の問題解決をするために必要な関連原因に関する知識と解決策に関する技能を習得する

到達目標 SBOs:

- 1) 新義歯の人工歯脱離の原因を述べる
- 2) 旧義歯の人工歯脱離の原因を述べる
- 3) 人工歯の離脱を再発させない修理法を計画できる
- 4) 新義歯の義歯床破損の原因を説明できる
- 5) 旧義歯の義歯床破損の原因を説明できる
- 6) 義歯床破損の修理法を説明できる
- 7) 再発しない義歯の修理を行える

キーワード

全部床義歯

コアカリキュラム

F-3-4) -(3) ⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
7月7日 1時限目 F-3-4) -(3)

---

担当者名 石井智浩

一般目標 GIO: 局部床義歯における人工歯脱落、床破折、クラスプ破折について診査し、対応法について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 局部床義歯における人工歯脱落の原因と修理法を述べることができる。
- 2) 局部床義歯における床破折の原因と修理法を述べることができる。
- 3) 局部床義歯におけるクラスプ破折について原因と修理法を述べることができる。

キーワード

人工歯脱落 義歯床破折 クラスプ破折 義歯修理

コアカリキュラム

F-3-4) -(3) ⑦可撤性義歯の構成要素を説明できる。F-3-4) -(3) ⑬可撤性義歯の調整、リライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。

講義日 時限 ユニット番号  
7月8日 1時限目 F-3-4) -(3)

---

担当者名 石井智浩

一般目標 GIO: 局部床義歯における人工歯脱落, 床破折, クラスプ破折について診査し, 対応法について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 局部床義歯における人工歯脱落の原因と修理法を述べることができる。
- 2) 局部床義歯における床破折の原因と修理法を述べることができる。
- 3) 局部床義歯におけるクラスプ破折について原因と修理法を述べることができる。
- 4) 口腔内の経時的変化について述べることができる。
- 5) 義歯の経時的変化について述べることができる。

キーワード

義歯修理 人工歯脱離 義歯床破折 クラスプ破折  
コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑦可撤性義歯の構成要素を説明できる。F-3-4) -(3)⑩可撤性義歯の調整, リライニング, リベースおよび修理を説明でき, 適切に行うことができる。F-3-4) -(3)⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し, 指導できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
7月9日 1時限目 F-3-4) -(1), F-3-4)

---

担当者名 小林平

一般目標 GIO: 歯冠補綴装置の種類による, 変色の原因と対処方法について必要な知識を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯冠補綴装置の材料を理解する。
- 2) 歯冠補綴装置の種類を説明できる。
- 3) 支台装置による変色の原因を説明できる。
- 4) 歯牙の変色の原因を理解し, 説明できる。

キーワード

歯牙の変色 レジン前装冠 オールセラミック 陶材焼付鑄造冠  
コアカリキュラム

F-3-4) -(1)⑪修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。F-3-4) -(1)⑫歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。F-3-4) -(2)③支台装置とポンティックの選択, 特徴および製作法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
7月12日 1時限目 F-3-4) -(1), F-3-4)

---

担当者名 小林平

一般目標 GIO: 歯冠補綴装置の金属による歯肉着色の原因を理解し、治療法と対処方法を学ぶ。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯科用鑄造金属のイオン分離を説明できる。
- 2) 歯肉着色の原因を説明できる。
- 3) 歯肉着色の治療方法を学ぶ。
- 4) 歯肉着色を防止する方法を説明できる。

キーワード

メタルタトゥー 歯肉着色 ガスレーザー  
コアカリキュラム

F-3-4) -(1)②修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。F-3-4) -(1)①歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。F-3-4) -(1)④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。F-3-4) -(1)⑩修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
7月13日 1時限目 F-3-3)

---

担当者名 高井英樹

一般目標 GIO: 歯肉歯槽粘膜の解剖学的異常およびそれに対する適切な処置について理解できる。

到達目標 SBOs:

- 1) 歯肉歯槽粘膜の解剖学的異常を説明できる。
- 2) 歯周形成手術の目的を説明できる。。
- 3) 歯周形成手術の種類と適応症を説明できる。
- 4) 軟組織移植術の術式を説明できる。

キーワード

歯肉歯槽粘膜 解剖学的異常 歯周形成手術  
コアカリキュラム

F-3-3) -(3)①歯周疾患の症状を説明できる。F-3-3) -(3)④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
7月14日 1時限目 F-3-3)

---

担当者名 鈴木英明

一般目標 GIO: 歯の変色や修復物による着色に対しての適切な診断と処置を行うために、必要な知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 生活歯の変色の原因について述べることができる。
- 2) アマルガム修復後の着色の原因について述べることができる。
- 3) コンポジットレジン修復後の着色の原因について述べることができる。
- 4) メタルインレー修復後の着色の原因について述べることができる。
- 5) オフィスブリーチ法に使用する薬剤、術式および予後について述べることができる。
- 6) ホームブリーチ法に使用する薬剤、術式および予後について述べることができる。

キーワード

歯の変色 修復物による着色 オフィスブリーチ法 ホームブリーチ法

コアカリキュラム

F-3-3) -(2)⑥歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
7月15日 1時限目 F-3-3) -(2)

---

担当者名 川島正

一般目標 GIO: 失活歯の変色に対する適切な診断・処置方針の決定ができるように変色の臨床症状・原因・特徴および処置方針を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 失活歯の変色の症状を説明できる。
- 2) 失活歯の変色の原因を説明できる。
- 3) 失活歯の変色の処置方針を説明できる。

キーワード

失活歯 変色 ホワイトニング

コアカリキュラム

F-3-3) -(2)⑥歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
7月16日 1時限目 F-3-4) -(3)

---

担当者名 宗邦雄

一般目標 GIO: 全部床義歯装着者の審美障害に対する診査, 診断を行い治療計画立案に必要な知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 老人様顔貌について説明できる。
- 2) リップサポートについて説明できる。
- 3) 人工歯形態に対する診断と選択方法を説明できる。
- 4) 前歯部人工歯排列位置に対する診断と処置方法を説明できる。
- 5) 咬合高径に対する診断と処置方法を説明できる。

キーワード

全部床義歯 リップサポート 人工歯排列 咬合高径

コアカリキュラム

F-3-4) -(3)①可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。F-3-4) -(3)④可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。F-3-4) -(3)⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。F-3-4) -(3)⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき, 各基本的操作を適切に行うことができる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
7月20日 1時限目 F-4-3) ,F-3-4) -(3)

---

担当者名 川良美佐雄

一般目標 GIO: 高齢者の審美性に対する要求に適切に対応できるようになるために, 老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化と, 可撤性義歯の作製法および調整法を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。
- 2) 審美性に対する訴えに原因を説明できる。
- 3) 審美性に対する訴えに対応策を説明できる。
- 4) 審美性に対する訴えに補綴歯科治療を適切に行うことができる。

キーワード

高齢者 審美性 可撤性義歯

コアカリキュラム

F-1-1) ⑦患者の訴えの中から主訴を的確に捉えることができる。F-3-4) -(3)①可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。F-3-4) -(3)④可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。F-3-4) -(3)⑩可撤性義歯の調整, リライニング, リベースおよび修理を説明でき, 適切に行うことができる。F-4-3) ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
7月21日 1時限目 F-3-4) ,F-3-4) -(1),F-3-4) -(2)

---

担当者名 小林平

一般目標 GIO: 歯の欠損様式の違いによる、歯冠補綴装置の選択法を理解し、治療方法を説明する知識を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 全部鑄造冠の特徴と適応症を説明できる。
- 2) 部分被覆冠の種類と特徴を説明できる。
- 3) ブリッジの適応症を説明できる。
- 4) ブリッジの種類を説明できる。
- 5) ブリッジの構成要素について説明できる。

キーワード

全部鑄造冠 レジン前装冠 陶材焼付冠 固定性ブリッジ 半固定性ブリッジ  
コアカリキュラム

F-3-4) -(1)①歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。F-3-4) -(2)②橋義歯の種類と特徴を説明できる。F-3-4) -(2)③支台装置とポンティックの選択、特徴および製作法を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
7月22日 1時限目 F-3-3) -(3)

---

担当者名 目澤優

一般目標 GIO: 動揺歯に対する診断・治療法および歯周疾患の病状に応じた歯周外科手術を選択するために、歯周外科治療の目的および術式を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 咬合性外傷の診断・治療法について説明できる。
- 2) 歯周外科手術の術式と特徴を説明できる。
- 3) GTR法の適応症と術式について説明できる。
- 4) エナメルマトリックスタンパク質を用いた治療法について説明できる。

キーワード

咬合性外傷 歯周外科手術 GTR法 エナメルマトリックスタンパク質  
コアカリキュラム

F-4-1) ③不正咬合によって生じる障害を列挙できる。F-4-1) ④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。F-3-3) -(3)②歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。F-3-3) -(3)③歯周治療の術式と適応症を説明できる。F-3-3) -(3)④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
7月23日 1時限目 F-3-4)

---

担当者名 小林平

一般目標 GIO: 口腔インプラント治療を行うために利点、欠点を理解し、治療の流れおよび補綴装置の選択基準を説明できる知識を修得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 口腔インプラント治療の意義と特徴を説明できる。
- 2) 口腔インプラント材料について説明できる。
- 3) 口腔インプラントの適応症と禁忌症を説明できる。
- 4) 口腔インプラント治療の流れを説明できる。
- 5) 口腔インプラント補綴装置の選択基準について説明できる。

キーワード

口腔インプラント オッセオインテグレーション セメント固定 スクリュー固定  
コアカリキュラム

F-3-4) -(1)①歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。F-3-4) -(2)⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。F-3-4) -(1)⑪修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。F-3-4) -(1)⑫歯の硬組織疾患の診査と検査および診断ができる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
8月23日 1時限目 F-2-4) -(8)

---

担当者名 小見山道, 川良美佐雄

一般目標 GIO: 下顎運動障害患者の補綴歯科治療や顎関節症患者の治療ができるようになるために、顎関節の機能的診断方法と治療方法を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 顎関節の特徴を列挙することができる。
- 2) 顎関節の機能解剖を説明することができる。
- 3) 顎関節症の特徴を列挙することができる。
- 4) 顎関節症の症型分類とその診断方法を説明することができる。
- 5) 顎関節症の治療方法を説明することができる。

キーワード

顎運動 顎関節症 下顎運動  
コアカリキュラム

F-2-1) ⑤顎関節の構造と機能を説明できる。F-2-1) ⑥下顎の随意運動の基本を説明できる。  
F-2-4) -(4)①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。F-2-4) -(4)②顎関節疾患(外傷, 脱臼, 顎関節症, 顎関節強直症)を概説できる。

講義日 時限 ユニット番号  
8月24日 1時限目 F-3-4) -(3)

---

担当者名 宗邦雄

一般目標 GIO: 発音障害を訴える全部床義歯装着者の診査, 診断を行い治療計画立案に必要な知識を習得する。

到達目標 SBOs:

- 1) 前歯部人工歯排列位置に対する診断と処置方法を説明できる。
- 2) 上顎義歯口蓋側研磨面の形態に対する評価方法と処置方法を説明できる。
- 3) 不適切な咬合高径による構音障害について説明できる。

キーワード

全部床義歯 発音障害 咬合高径 人工歯排列 パラトグラム  
コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑦可撤性義歯の構成要素を説明できる。F-3-4) -(3)⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。F-3-4) -(3)⑫可撤性義歯の設計原理を理解し, 口腔内診察, 検査, 診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
8月25日 1時限目 F-4-3)

---

担当者名 鈴木浩司

一般目標 GIO: 発音に対する臨床的問題を解決するために発音, 発声のメカニズム, 加齢変化について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 発声について説明できる
- 2) 発声器官について説明できる
- 3) 構音器官について説明できる
- 4) 発音機能について説明できる
- 5) 筋機能の老化変化について説明できる

キーワード

発音 発声 口腔機能 老化  
コアカリキュラム

F-4-3) ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。F-4-3) ③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
8月26日 1時限目 F-1-3) -(1), F-1-5)

---

担当者名 峯村麻由, 石橋肇

一般目標 GIO: 安全な歯科治療を行うために, 歯科治療中の偶発症について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) ショックの種類について説明できる。
- 2) 神経性ショックの病態について説明できる。
- 3) 神経性ショックの対応について説明できる。
- 4) 神経性ショック予防についての対策を説明できる。

キーワード

コアカリキュラム

F-1-3) -(1)①バイタルサインを列挙し, 説明できる。F-1-3) -(1)②血圧を測定できる。F-1-3) -(1)③脈拍の状態を把握できる。F-1-3) -(1)④呼吸の状態を把握できる。F-1-3) -(1)⑤歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明できる。F-1-5) ①意識レベル, 呼吸および脈拍の状態を把握できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
8月30日 1時限目 F-1-3)

---

担当者名 峯村麻由, 石橋肇

一般目標 GIO: 安全な歯科治療を行うために, 歯科用局所麻酔薬について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 局所麻酔
- 2) 歯科用局所麻酔薬の合併症について説明できる。
- 3) アナフィラキシーショックの病態について説明できる。
- 4) アナフィラキシーショック

キーワード

コアカリキュラム

F-1-3) -(3)①局所麻酔の目的を説明できる。F-1-3) -(3)②局所麻酔薬を分類し, その作用機序を説明できる。F-1-3) -(3)④血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。F-1-3) -(3)⑤局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。F-1-3) -(3)⑥局所麻酔時の合併症を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
8月31日 1時限目 F-4-4), F-4-3), F-2-2)

---

担当者名 野本たかと

一般目標 GIO: 摂食・嚥下リハビリテーションができるよう、嚥下障害の特性および対応法を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 摂食・嚥下のメカニズムを説明できる。
- 2) 摂食・嚥下障害の原因を説明できる。
- 3) 摂食・嚥下障害者に対する訓練法を説明できる。
- 4) 誤嚥性肺炎と口腔ケアについて説明できる。

キーワード

摂食 嚥下 嚥下障害 リハビリテーション 誤嚥性肺炎  
コアカリキュラム

F-2-1) ⑧嚥下の機序を説明できる。F-4-3) ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
9月1日 1時限目 F-4-4), F-2, F-4-3), F-2-4) -(7), F-2-4) -(8)

---

担当者名 梅澤幸司

一般目標 GIO: 障害者ならびに高齢者に関する医学的基礎知識と歯科医療上の配慮、および障害者地域歯科医療における課題解決に必要な基本的知識と概念を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 障害者の行動調整について説明できる。
- 2) 障害者の主な口腔症状について説明できる。
- 3) 先天異常ならびに症候群について説明できる。
- 4) 高齢者の基礎疾患について説明できる。
- 5) 全身管理に留意する疾患について説明できる。

キーワード

障害者 高齢者 障害者の口腔症状 症候群 行動調整  
コアカリキュラム

F-4-4) ①障害者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。F-2-3) ④口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。F-4-3) ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。F-2-4) -(7)⑤口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。F-4-3) ①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。F-4-3) ③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
9月2日 1時限目 F-3-4) -(3)

---

担当者名 菅野京子

一般目標 GIO: 新・旧義歯装着後に起こる嚥下障害および嘔吐に対応するために必要な義歯の診査・診断に関する知識を習得する

到達目標 SBOs:

- 1) 仮想咬合平面の決定法について説明できる
- 2) 垂直的顎関係の決定法を列挙できる
- 3) 水平的顎間関係の決定法を列挙できる
- 4) 咬合高径が高すぎる場合の問題点を列挙できる
- 5) 咬合高径が低すぎる場合の問題点を列挙できる

キーワード

全部床義歯 仮想咬合平面 垂直的顎関係 水平的顎関係

コアカリキュラム

F-3-4) -(3)⑩可撤性義歯の調整, リライニング, リベースおよび修理を説明でき, 適切に行うことができる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
9月6日 1時限目 F-4-3)

---

担当者名 鈴木浩司

一般目標 GIO: 嚥下に関する臨床的問題を解決するために嚥下機能とこれを障害する諸問題について理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 嚥下機能について説明できる。
- 2) 誤嚥について説明できる。
- 3) 誤嚥性肺炎について説明できる。
- 4) 嘔吐反射について説明できる。
- 5) 義歯の清掃管理について説明できる。

キーワード

嚥下 誤嚥 誤嚥性肺炎 義歯清掃管理

コアカリキュラム

F-4-3) ①老化の身体的, 精神的および心理的特徴を説明できる。F-4-3) ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。F-4-3) ③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。F-3-4) -(3)⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し, 指導できる。

講義日 時限 ユニット番号  
9月7日 1時限目 F-4-1)

---

担当者名 齋藤勝彦

一般目標 GIO: 叢生歯列の適切な矯正治療を行うために、叢生の発生要因および診断法を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 叢生歯列の発現要因を理解する。
- 2) アーチレングスディスクレパンシーについて理解する。
- 3) セファログラムコレクションについて理解する。
- 4) トータルディスクレパンシーについて理解する。
- 5) 抜歯判定の基準について理解する。

キーワード

叢生歯列 トータルディスクレパンシー 抜歯判定の基準  
コアカリキュラム

F-2-2) ③歯列と咬合について説明できる。F-4-1) ③不正咬合によって生じる障害を列挙できる。F-4-1) ④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
9月8日 1時限目 F-4-1)

---

担当者名 齋藤勝彦

一般目標 GIO: 空隙歯列の適切な矯正治療を行うために、空隙歯列の発生要因および診断法を理解する。

到達目標 SBOs:

- 1) 空隙歯列の発現要因について理解する。
- 2) 空隙歯列に影響を及ぼす機能的要因について理解する。
- 3) 正中離開の発現要因について理解する。
- 4) 空隙歯列の治療方法について理解する。
- 5) 正中離開の治療方法について理解する。

キーワード

空隙歯列 機能的要因 正中離開  
コアカリキュラム

F-2-2) ③歯列と咬合について説明できる。F-4-1) ③不正咬合によって生じる障害を列挙できる。F-4-1) ④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。

講義日 時限 ユニット番号  
9月9日 1時限目 F-4-1)

---

担当者名 五関たけみ

一般目標 GIO: 上顎前突を主訴に来院した患者からの相談に適切に対応するために必要な基本的知識について学ぶ。

到達目標 SBOs:

- 1) 上顎前突の発現要因を説明できる。
- 2) 早期治療について説明できる。
- 3) 上顎前突の形態的特徴を列挙できる。
- 4) 上顎前突の機能的特徴を列挙できる。
- 5) 上顎前突の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。

キーワード

不正咬合 上顎前突 不正咬合の原因 早期治療 先天異常  
コアカリキュラム

F-2-3) ③口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を説明できる。F-2-3) ④口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常(不正咬合)を説明できる。F-4-1) ③不正咬合によって生じる障害を列挙できる。F-4-1) ④不正咬合の原因, 種類, 診察, 検査, 診断, 治療および予防法を説明できる。F-4-1) ⑥矯正装置の種類と使途を説明できる。

---

講義日 時限 ユニット番号  
9月10日 1時限目 F-4-1)

---

担当者名 五関たけみ

一般目標 GIO: 反対咬合を主訴に来院した患者からの相談に適切に対応するために必要な基本的知識について学ぶ。

到達目標 SBOs:

- 1) 下顎前突の発現要因を説明できる。
- 2) 早期治療について説明できる。
- 3) 機能性反対咬合の特徴を述べることができる。
- 4) 歯性反対咬合の特徴を述べることができる。
- 5) 骨格性下顎前突の特徴を述べることができる。
- 6) 反対咬合の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。

キーワード

不正咬合 骨格性下顎前突 機能性反対咬合 早期治療 治療計画  
コアカリキュラム

F-2-3) ③口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を説明できる。F-2-3) ④口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常(不正咬合)を説明できる。F-4-1) ③不正咬合によって生じる障害を列挙できる。F-4-1) ④不正咬合の原因, 種類, 診察, 検査, 診断, 治療および予防法を説明できる。F-4-1) ⑥矯正装置の種類と使途を説明できる。

学生番号 \_\_\_\_\_ (院内番号) \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_